

2-2 避難の判断

洪水の危険が迫った時は、町役場から避難の呼びかけがあります。しかし避難するタイミングをつかんで実際に行動するのはあくまでもあなた自身です。

目安となる情報を以下に示します。水位や雨量の情報はテレビ・ラジオや有線放送、インターネットを通じて入手できます。これらの情報をもとに避難を行うかを判断して下さい。また、町からの呼びかけがあった場合は、これにしたがった行動をしてください。

自主避難をする際は、事前に避難所の開設状況を町役場にお問い合わせください。
 なお、避難の際には、山崩れや崖崩れが起こりやすい状況になっていますので、土砂災害にも十分注意しましょう。

水位情報周知

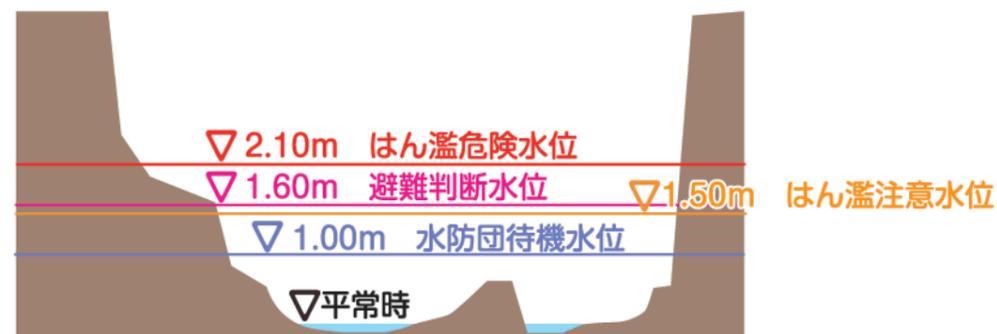
厚東川では、洪水時の水防活動の目安や避難の目安のひとつとなる水位として「はん濫危険水位(危険水位)」、「避難判断水位(特別警戒水位)」、「はん濫注意水位(警戒水位)」、「水防団待機水位(通報水位)」の4種類が設定されています。この水位をもとに水防活動はもちろんのこと、テレビ・ラジオ・有線放送・インターネットなどを通じて付近の人々に洪水時の避難活動を促します。

また、インターネット(山口県土木防災情報システム)では、基準地点の現在の雨量・水位などがご覧になれます。

水位	内容
はん濫危険水位(危険水位)	はん濫するおそれのある水位です。
避難判断水位(特別警戒水位)	住民の避難の目安のひとつとなる水位です。
はん濫注意水位(警戒水位)	水防団などが、水害の発生に備えて出動の目安とする水位です。
水防団待機水位(通報水位)	水防団などが、水防活動に入る準備を行う目安とする水位です。

山口県土木防災情報システムホームページ <http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp>

厚東川(信高橋)の水位と避難の目安



厚東川(岩永)の水位と避難の目安



雨の降り方と強さ

やや強い雨 10~20mm/1時間	強い雨 20~30mm/1時間	激しい雨 30~50mm/1時間	非常に激しい雨 50~80mm/1時間	猛烈な雨 80mm以上/1時間
ザーザーと降る感じで、地面に水たまりができる。	どしゃ降りと感じる。傘を差してもぬれてしまう。	バケツをひっくり返したような雨。	滝のような雨。傘も全く役に立たない。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。

大雨・洪水注意報・警報の発令基準

種類	発令基準						
大雨・洪水注意報	大雨あるいは洪水によって、災害の発生するおそれがある場合。 具体的には、雨量が次のいずれか以上になると予想されるとき。 <table border="1"> <tr> <td>1時間雨量</td> <td>3時間雨量</td> <td>24時間雨量</td> </tr> <tr> <td>30mm以上</td> <td>50mm以上</td> <td>100mm以上</td> </tr> </table>	1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量	30mm以上	50mm以上	100mm以上
1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量					
30mm以上	50mm以上	100mm以上					
大雨・洪水警報	大雨あるいは洪水によって、重大な災害が発生するおそれがある場合。 具体的には、雨量が次のいずれか以上になると予想されるとき。 <table border="1"> <tr> <td>1時間雨量</td> <td>3時間雨量</td> <td>24時間雨量</td> </tr> <tr> <td>50mm以上</td> <td>80mm以上</td> <td>150mm以上</td> </tr> </table>	1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量	50mm以上	80mm以上	150mm以上
1時間雨量	3時間雨量	24時間雨量					
50mm以上	80mm以上	150mm以上					

※ 下関地方気象台「萩・美祿区域」の発表基準

町からの呼びかけ

情報の発表段階	種類	町からの呼びかけの内容例	行動
第1段階	避難準備情報	こちらは秋芳町役場です。厚東川が増水し、今後も水位が上昇することが予想されます。いつでも避難できるように準備してください。テレビやラジオの情報に注意してください。	●情報の収集 ●避難の準備 ●自主避難
第2段階	避難勧告	こちらは秋芳町役場です。厚東川の水位が△.△mを超え、今後も上昇する見込みで、はん濫するおそれがあります。□□地区の方は避難を開始してください。また、避難する際には、川沿いやがけの周辺など危険な場所を避け、あわてず落ち着いて行動してください。	●避難開始
第3段階	避難指示	こちらは秋芳町役場です。厚東川がはん濫する危険があります。□□地区の方は至急避難してください。避難する際には、川沿いや崖の周辺など危険な場所を避け、あわてず落ち着いて行動してください。	●ただちに避難